

平成 27 年 10 月 13 日提出

(宛先) 鎌倉市議会議長

議員名 上畠 寛弘

私立進学率の実態に関する質問主意書

鎌倉市議会基本条例第 7 条第 3 項（鎌倉市議会会議規則第 105 条）の規定により次のとおり質問する。

1 件名

私立進学率の実態

2 質問の要旨

1. 鎌倉市内の子供が就学にあたって私立国立小学校への入学を選択する割合は、其々いくつか。（私立国立を分けて示せない場合は合算した割合で可）
2. 1 と同様に私立国立中学校への進学を選択する割合は其々いくつか。
（私立国立を分けて示せない場合は合算した割合で可）
3. 私学振興の意義とは何か。（教育部長、市長共に答弁頂きたい）
4. 小学校、中学校其々の義務教育課程に於いて私立への入学、進学をすることで、鎌倉市としてコスト面では、公立への入学者が減少することで軽減されるのか。
5. 4 のコスト軽減効果は測定可能か。
6. 4、5 のコスト軽減効果は測る価値はあるか。

3 答弁を求める者

教育部長、市長

4 答弁の期限

有（平成 年 月 日まで） ・ ④

（理由：

）